

<p>【主題名】 思いを伝え合って 【相互理解，寛容】 中B－（10）</p>	<p>【教材名】 「ちこく」（「生きる力4」日本文教出版）</p>
<p>【本時のねらい】 さびしそうなかずやを見たこう太に，後悔の気持ちが膨らんできたのはなぜかについて考えることを通して，私たちは自分のことばかりを考えてしまうが，相手のことを考えて話を聞いたり，事情を考えた言動をとったりすることができれば，望ましい人間関係を構築することができることに気づき，互いに理解し尊重し合おうとする態度を養う。</p>	
<p>【指導の要点】 自分の思いや考えを相手に伝えるとともに，私たちは自分のことばかりを考えてしまうが，自分と異なる意見について，友達の意見に耳を傾けたりその背景を考えたりして，お互いに理解しようとするのが望ましい人間関係をつくっていくということについて考えを深めさせたい。</p>	
<p>【主題に関わる児童の実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学級の児童は，友達に対して思いやりの気持ちが強く，優しい気持ちで人に接することができる。運動会のリレーでバトンを落としても誰もその子を責めるようなことはしない。その一方で，休み時間などの児童同士の会話を聞いていると，相手の気持ちを考えずに相手が傷つくようなことを口にしてしまうことがある。そんなことを考えてか，意見が分かれるときはお互いが関わらずに，トラブルを避けようとする姿が見られる。また，遊びに夢中になって自分勝手な行動をとるなど自分本位な見方をしている児童もいる。</li> </ul>	<p>【授業を通して引き出したい児童の考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・決めつけや仲間はずしは，いじめにつながることもあるな。だから友達の話をきちんと聞かないといけないな。</li> <li>・友達の話をきちんと聞くと，関係がよくなるな。</li> <li>・相手と思いを伝え合うことで，お互いに気持ちよく学校生活を送ることができる。</li> <li>・みんなが相手のことを理解することで，いじめや仲間外れが起きない。</li> <li>・相手の意見を聞かずに，自分の思いだけで何でも決めつけてしまうと，誤解や間違ってしまうこともあり，友達をなくしてしまう。</li> <li>・色んな考えの人が一緒に過ごしたり，仲良くしたりすると人間関係が広がって楽しい。</li> </ul>
<p>指導上の工夫</p>	<p>板書計画</p>
<p>自分自身との関わりで考えるための工夫</p>	
<p>多面的・多角的に捉えるための工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじわるから仲間外れにしたのではなく，遅れたかずやを待たたり，何かあったのか気になったりして，仲良しだからこそ腹を立ててしまったこう太の思いも押さえたうえで，こう太の言動について考えさせる。</li> </ul>
<p>授業の評価の観点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のことを理解しようとする，望ましい人間関係を築けることについて自分自身の経験に重ねながら考えさせることができたか。（自分自身）</li> <li>・後悔の気持ちが膨らむこう太の気持ちや考えを話し合う中で，進んで相手の意見を理解しようとする大切さについて考えさせることができたか。（多面的・多角的）</li> </ul>
<p>児童の評価の視点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話を聞いたり，事情を考えたりすることがいじめや仲間はずしのないよりよい関係につながることにについて，自分自身との関わりで考えようとしていたか。（自分自身）</li> <li>・お互いを理解し合うことについて，相手の意見を受け入れられない場合や，相手の事情が分かった場面など，様々な視点から考えようとしていたか。（多面的・多角的）</li> </ul>

【学習指導過程】

	学習活動と主な発問（○），補助発問・問い返し（◆），留意事項（・）	予想される児童の反応
導入	<p>1. 友達に腹を立てた経験について話し合う（3分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にとっておいたアンケート結果を示しながら話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腹を立てて，けんかの原因になったことがある。</li> <li>・いつの間にか仲直りしているかな。</li> <li>・理由を聞いてもらえず，腹を立てたことがあるよ。</li> </ul>
展開	<p>2. 教材の範読を聞く。（4分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・範読後，教材についてどう思ったか問う。</li> <li>・こう太が腹を立てた理由を確認する。</li> </ul> <p>3. 教材について話し合う（18分）</p> <p>○試合に遅れてきたかずやに対してこう太はどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>◆こう太は遅れたかずやを友達として心配していたからこそ，腹を立てたのではないのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こう太の思いと自分の経験を重ね合わせながら考えさせる。</li> </ul> <p>○寂しそうなかずやを見て後悔の気持ちが膨らんで来たこう太は，どんなことを考えたのでしょうか。</p> <p>◆かずやが本当のことを言わなかったのは，どうしてだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・決めつけたり一方的に責めたりすると，相手は言いたいことも言えなくなってしまい，いじめにつながることもあることに気付かせる。</li> </ul> <p>4. 相手を理解することの大切さについて考える。（13分）</p> <p>◎相手の話を聞いたり，事情を考えたりすることはどうして大切なのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆相手の話を聞いたり，事情を考えたりすることのよさって何だろう。</li> <li>◆腹が立ったらもうその人とは友達をやめて，他の人と仲よくしてもいいのではないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一方的に腹を立てるこう太はよくない。</li> <li>・話を聴かなくちゃいけない。</li> <li>・何で遅れてくるんだよ。</li> <li>・もう友達じゃない。</li> <li>・かずやのせいで負けた。許せない。</li> <li>・事情があったことを知ろうとしなかったな。</li> <li>・かずやの言い分を聞こうとする気持ちがなかったな。</li> <li>・もっとかずやのことを考えたらよかったな。</li> <li>・かずやにも事情があったんだな。</li> <li>・理由も聞かずに怒ってしまって悪かったな。</li> <li>・仲間外れになんてするんじゃないな。</li> <li>・みんなに責められたら，言いたくても言えない。</li> <li>・かずやは言いたくても言えないと思う。</li> <li>・大人数で言われると言いつ返せないと思う。</li> <li>・相手のことを考えることで，これからの関係がよくなる。</li> <li>・そうすれば相手のことがよく分かり，もっと仲良くなれる。</li> <li>・いじめや仲間外れがなくなる。</li> <li>・意見を伝え合わないと，誤解をされてしまうことがある。</li> </ul>
終末	<p>5. 本時の振り返りをする。（7分）</p> <p>道徳ノートに自分の考えを記入することを通して，今日の学習について振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つい自分のことばかり考えて，一方的に相手を怒ってしまっているけど，いじめや仲間はずしにつながることもあるので，自分の行動をしっかりと考える。</li> <li>・友達の話を最後まできちんと聞いたり，自分の意見を伝えたりすることで，相手を理解することができる。</li> <li>・相手の意見を聞かずに，自分の思いだけで何でも決めつけてしまうと，誤解や間違ってしまうこともあり，友達をなくしてしまう。</li> </ul>